

アジアを中心とする国際人材育成と大学連携による国際化の加速度的推進

国立大学改革強化推進補助金（平成24年度選定事業）

1 / 3

事業の目的

アジアを中心として、困難な課題に立ち向かう**プロフェッショナル・エリート**の育成を目指し、名古屋大学、三重大学、愛知教育大学が協働して海外教育拠点を活用し、体験教育を核とした教育プログラムを開発・実施する。

事業実施校

(代表大学)
名古屋大学

(連携大学)
三重大学
愛知教育大学

事業の概要

国の政治や経済活動が世界の動きと連動する現代社会において、国際社会に目を向け、活躍できる人材育成が求められている。**アジアを中心とする世界を舞台に、困難な課題に立ち向かう指導者層の育成**を目指す。

近隣大学と協働して、海外教育研究拠点を活用し、体験教育を核とした教育プログラムを開発・実施する。

主な成果目標及び達成指標

1) グローバル人材育成プログラム

学部から博士課程に至る教育課程で、アジアを中心に国際的なリーダーを育成するための国際人材育成プログラムを企画・実施する。

【主な達成指標】

- ✓ 日本人学生の留学に向けた講座開講、海外拠点を活用しての体験型学習プログラム開発による教育コンテンツの充実による日本人学生の海外派遣者数の増加
- ✓ カウンセリング体制、日本語教育の充実等による留学生の受入体制の整備
- ✓ H26年度までに海外拠点を活用したリクルーティング・模擬授業を実施、H27年度以降継続化

2) 海外拠点との連携強化

世界が直面する課題を学生自ら体験・理解し、課題解決に向けた活動を、海外拠点と連携して実施する。

【主な達成指標】

- ✓ 海外拠点を活用した体験型学習プログラムの企画・実施
- ✓ 海外拠点における日本法情報の発信、現地法情報の収集、現地における日本語および英語による日本法教育プログラム、日本法特別講義の実施

3) 東海地区大学連携

名古屋大学と近隣大学が共同で多彩な教育プログラムを企画・実施し、各大学単独で実施する以上の効果、効率性を確保する。

【主な達成指標】

- ✓ 業務の集約化のための名古屋大学および連携大学の国際関係部署の改組
- ✓ 名古屋大学と連携大学とで留学生向け日本語講座の実施
- ✓ 名古屋大学と連携大学とで日本人学生向け語学研修の実施

アジアを中心とする国際人材育成と大学連携による国際化の加速度的推進

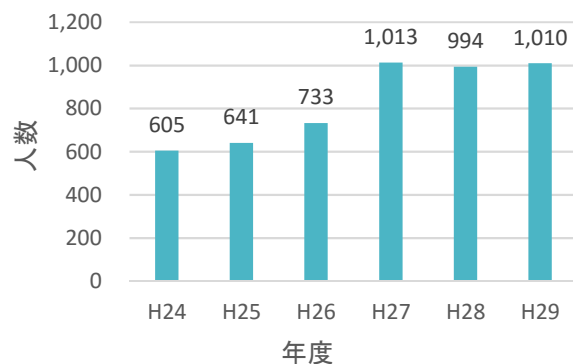
実績・成果①

日本人学生の海外派遣支援体制、留学生の受入体制の強化

- ・日本人学生に対して、留学のためのセミナー・講座、インターシッププログラムを開発し、留学を促進する体制を整備。
- ・留学生に対して、留学生のみならずその家族も視野に入れた個別かつ多面的な支援体制を整備。

海外派遣学生数
H24年度 605名 → H29年度 1,010名

海外留学者数の推移



実績・成果②

海外拠点との連携強化

- ・海外拠点と連携した教育プログラムの開発により、学生に学習の場を海外に広げる機会を提供。
- ・海外拠点を活用した学生リクルーティング・模擬講義の実施により、海外拠点の活動の幅を拡張。

外国人留学生数
H24年度 2,065名 → H29年度 2,462名



希平会主催、JSPS共催の中国東北地方における留学説明会に参加

カセサート大学・チュラロンコン大学での模擬講義



実績・成果③

東海地区大学連携

- ・各大学が強みを持つ海外拠点・協定校を連携大学が相互活用することにより、外国語による講義手法、海外における事務処理手法の修得を促進。
- ・連携大学との国際化に係るノウハウ・問題意識の共有により、大学の枠組みを超えた事業を効果的かつ効率的に立案・実施。

連携大学のほか近隣大学に呼びかけ、職員の国際化に係るワークショップを開催し、情報共有・意見交換を行った



H28年度 各対策講座参加者数

| 講座名 | 名大生 | 名大生以外 |
|----------------|-----|-------|
| 週末講座・1日講座 | 74 | 51 |
| TOEFL iBT 対策講座 | 18 | 1 |
| IELTS 対策講座 | 17 | 4 |

H28年度に実施した連携大学と共催の留学支援講座連携大学のほか、中部地区の大学からも参加があった

今後の予定・展望

本事業開始以降、海外派遣学生数および留学生数が着実に増加してきたが、今後は量よりも質を高めることに重点を置き、本事業終了後も持続的に国際化に取り組む。

危機管理安全対策の徹底と大学間の連携、国際化に関する事業経費の確保について、今後さらに検討を行う。

アジアを中心とする国際人材育成と大学連携による国際化の加速度的推進

(参考) 事業の実施体制

【取組内容】
 留学生の派遣・受け入れで実績を有す大学を中心に地域の複数の大学がスクラムを組み、従来にはない規模の幅広い日本人学生の派遣(年間1,200人)、留学生の受け入れ(年間3,600人)に取り組む。

